



九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンス・カフェ』を開催しています。

第14回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

- 日時：2013年 6月7日(金)
18:00~19:30
- 場所：九州工業大学・飯塚キャンパス
福利施設2階喫茶 飯塚市川津 680-4
- テーマ：『位相幾何学は情報科学の役に立つか』
- ゲスト：佐藤 好久 氏
(情報工学研究院
システム創成情報工学系 教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

- 申込み 必要(定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509(平日10:00~17:00)
メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

さとう よしひさ

佐藤 好久 氏

情報工学研究院
システム創成情報工学研究系
教授

数学(幾何学)の長い歴史の中で比較的新参者の「位相幾何学」は、他の数学の分野や理論物理学と互いに影響を及ぼしあいながら発展してきました。

位相幾何学は人間の感性に最も近い幾何学です。私自身もこの魅力に惹かれて、この道の研究者となりました。簡単に言えば、図形がゴムでできていると想定して、伸ばしたり縮めたり、曲げてみたり、あるいは、切ってみたり、貼り合わせてみたりして、図形の持つ内在的な性質を調べる幾何学です。

それでは、位相幾何学が役に立っているのは自然科学だけでしょうか。いいえ、近年になって、位相幾何学が工学の分野へ出ていこうとする動きがあります。工学・情報工学の分野の問題を位相幾何学の枠組みの中でとらえる最近の試みについてお話しします。